

議会だより すめの

- 議案に対する質疑・討論、議案の賛否 2～4
- 一般質問（9人が市政を問う）…………… 5～7
- 行政視察受け入れ状況…………… 8
- 委員会メンバーが代わりました…………… 9
- 特集 裾野市議会の政務活動費…………… 10～11
- 新副議長が就任しました…………… 12



裾野駅と建設中のエレベーター(右)



数十年ぶりに姿を現した三間堀川

12月定例会 No.126

平成29年1月15日

発行：裾野市議会

区画整理が進む裾野駅西地区

12月定例会開催 全17議案を可決

第80号議案 第4次裾野市総合計画・後期基本計画

総務

Q 施策の柱の構造にある主な取組みの位置づけは。また、主な取組みに記載のない事業が必要になった場合の対応は。

A より分かり易い表現とするため、各計画にある施策から具体的な事業を例示した。当然記載のない事業も取り組んでいく。

Q 将来を見据えた市政の展開で後期基本計画の目標達成率を100%としている理由は。

A 目標を高くもち、達成できるKPIを設定することで100%達成に向けて努力していく。

Q 大量退職者による組織の弱体化を防ぐため、正規職員の採用を見直す必要は。

A 平成28～32年度の間、定数増の見直しが必要となることも考えられる。

Q 効果・効率志向の行政経営の推進でペーパーレスに取り組む考えは。

A 基本計画に記載はないが、取り組むべきと捉えている。

厚生文教

Q 放課後児童室の6年生までの受け入れ体制はどうか。

A 平成31年度までに受け入れが目標。実施予定の学校は決まっている。

Q 生活困窮者等の自立支援が基本事業の項目から外されたのは、位置づけが格下げられたのか。

A 格下げではなく、個別の施策が動き出している事から、主な取組みに記載した。

Q 地元産食材の積極的な活用の記載がない理由は。

A 食育の一環として教育振興基本計画に記載しているため。

Q 少年と青年が一括りでは少年向けの施策ばかりで青年に目を向けられていないのでは。

A 地域で育った子どもたちが地域に帰ってくる循環が出来つつある。一緒にやることで強化していく。

Q 男女共同参画の主な取組みが講座の実施だが、その段階は過ぎていないのでは。

A 世代によってまだまだ考え方が違う。それぞれの世代に合う講座を実施していきたい。

産業建設

Q 裾野駅橋上駅舎と東西自由通路の工事に対する考えは。

A 駅北側の踏切が狭小のため将来整備が行えるよう準備する。

Q 長期的課題である深良地区まちづくり整備の推進は。

A 平成32年度以降も継続していく。

Q 地籍調査の計画に対する考えは。

A 実施計画で目標設定していく。

Q 裾野駅の賑わいづくりは、基盤整備（ハード面）と賑わいづくり（ソフト面）をどのようにしていくのか。

A 建設部、産業部の担当課の連携を持ちながら取り組む。

Q 市内全体の消費額や、大手店舗、個人商店それぞれの売上額を把握しているか。

A 把握していない。

Q 公共下水道整備地区499.7ha以外の整備を行わない地域の記載は。

A 今回の計画には記載しない。次回になると思う。

反対討論

①行政経営に企業・民間経営原理を持ち込むことで、効果・効率を図る指標が、量的判断の金銭のみとなり、住民にとっての質的判断・効用が抜け落ちている。②協働の言葉を強調することで、行政の本来果たすべき役割・責任が曖昧にされることは問題である。③進まない計画を進めるため、保護者、住民への十分な説明も合意形成もなしで強引に計画を進めている現実がある。

市が負わなければいけない責任を果たしていないことが問題で、大切な子どもたちの育ちに何が最良なのかの視点が全く抜け落ちている。市民の声を聞けない中で、本計画の目標達成率を100%としていることに強い危惧を感じる。

賛成討論

今回の策定では、昨年策定された、まち・ひと・しごと創生総合戦略を更に深め、反映させたものと認識している。策定作業では市民の声を反映させるため、みらい会議が行われ、未来を担う世代ごとの意見聴取も行われた。また指摘のあった目標指標も、意見を真摯に受け止め見直しが行われたことも評価できる。

計画の着実な実施にあたっては、毎年度主要プロジェクトを設定し、進捗管理を行う意思を確認した。後期5年間で少しでも人口減少に歯止めをかけ、活気あふれるまちづくりができるよう期待している。

第81～95号議案

総務

第81号議案 裾野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正

反対討論

本年8月8日付の人事院勧告を勘案し議員の期末手当を0.1カ月分引き上げるもの。地方議員の定数や報酬額は自治体特有の条件を基礎に議会の活性化や住民合意を得て決定されるべきもの。今回は特別職報酬等審議会も開かれておらず市民の理解を得られていない。

第90号議案

一般会計補正予算（第5回）

Q 中学校施設の耐震改修工事を国庫補助金と地方債で計画しているが学校教育施設整備基金に積み立てる1億円を使った方が良いのでは。

A 国第二次補正予算関連事業の起債の充当率は100%であることから、市にとって有利である。

Q 市長室・市長応接室の補修工事400万円の詳細は。

A 市長室は天井クロスを張り替え、応接室は床をタイルカーペットにし、腰壁を杉板に変える。

Q 児童福祉運営費の賃金1,000万円の減額理由は。保育運営に支障は無かったか。

A 臨時職員の保育士、給食員などの雇用時期による賞与の減額と、退職者の補充が出来なかった事による。保育運営に大きな支障は無かった。

Q 美化センター焼却業務の一部委託の各年度の内容は。

A 平成29年度はクレーン作業を、平成30～36年度は夜勤業務を委託する。

Q 美化センターの一部業務委託での効果は。

A 今後の退職見込者に対応する委託であり、業務の効率や労働の安全性を高められる。

反対討論

第81号議案に対応した、議員の期末手当引き上げの補正予算を可決する事は、現時点で市民の理解を得られない。



美化センター

厚生文教

第90号議案

一般会計補正予算（第5回）

Q がん検診費用の見込み増は昨年度と比べどれくらいか。

A 昨年度の同期と比べて全検診の平均で5.8%の伸び。

Q 臨時福祉給付金は15,000円×5,000人分だが、対象者は何人か。

A 実対象者は5,800人。昨年度の申請実績から5,000人分と見込んだ。

Q 市民体育館の備品購入費の減額理由は。

A カーテンやプロジェクター、電波時計などが安価で購入できたため。

産業建設

第84号議案 農業委員会委員定数条例の全部改正

Q 新設する農地利用最適化推進委員の選出の考えは。

A 耕作地面積100haにつき1人で、計10人を選出する。東・深良・須山地区で各2人、富岡地区で3人、西地区で1人を選定。

第90号議案

一般会計補正予算（第5回）

Q 橋梁長寿命化を行う大久保橋、金山橋の工事期間、工事方法と、延命期間は。

A 工事期間は3月末までを予定。橋が近接しているため動線を確保しながら工事を行う。延命期間は50年程度。

Q 市道2019号線の狭隘道路整備補助事業の内容は。

A 地権者の合意が得られ、二ツ屋地先に、長さ約150m、幅員6mで新設する。



狭隘道路（二ツ屋）

Q 宅地分譲補助の実績と、補助金の上限はあるか。

A 48件が申請中で29件が完了。上限枠は設けず、申請があれば補正などで対応する。

Q 県営裾野愛鷹線林道整備の676万円減額による影響は。

A 約500mの工事縮小となる。

第95号議案

水道事業会計補正予算（第2回）

Q 水道施設電気料金の1,036万円減額理由は。

A 電気料金の減と、施設統廃合の効果によるもの。

議案の賛否

※全ての議案を掲載していますが、賛否の分かれた案件は賛否の一覧を記載しています。
 ※議長（二見榮一）は採決には加わりません。

※賛成は○、反対は●、欠席は欠、棄権は棄で表記しています。

議員名 議案内容	岩井良枝	中村純也	井出悟	村田悠	廣瀬主博	小田圭介	杉山茂規	佐野利安	三富美代子	二ノ宮善明	勝又明	杉本平治	賀茂博美	芹澤邦敏	増田喜代子	岡本和枝	小林俊	内藤法子	杉本和男	土屋秀明	二見榮一	結果
第80号議案 第4次市総合計画・後期基本計画を定めることを審議	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	原案可決 (賛成多数)
第81号議案 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を審議	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛成多数)
第90号議案 平成28年度市一般会計補正予算（第5回）	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛成多数)
議員提出議案 第10号 二見榮一議長に対する議長辞職勧告決議を審議 ※二見榮一議員は審議の対象者のため議場から除斥 ※土屋秀明副議長は議長の任を代行したため採決には加わりません	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	●	棄	○	棄	○	○	○	○	-	-	原案可決 (賛成多数)
第82号議案 市職員の給与に関する条例の一部改正を審議																						原案可決
第83号議案 市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正を審議																						原案可決
第84号議案 市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定を審議																						原案可決
第85号議案 市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正を審議																						原案可決
第86号議案 市学習、集会等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部改正を審議																						原案可決
第87号議案 県市町総合事務組合理約の変更を審議																						原案可決
第88号議案 裾野、長泉清掃施設組合理約の変更を審議																						原案可決
第89号議案 市道路線の変更を審議																						原案可決
第91号議案 平成28年度市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）																						原案可決
第92号議案 平成28年度市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1回）																						原案可決
第93号議案 平成28年度市介護保険特別会計補正予算（第2回）																						原案可決
第94号議案 平成28年度市下水道事業特別会計補正予算（第2回）																						原案可決
第95号議案 平成28年度市水道事業会計補正予算（第2回）																						原案可決

議員提出議案第10号 議長辞職勧告決議案を可決

【提案理由】

9月議会で二見榮一議員に対し議長不信任決議が圧倒的多数で可決された。議会の遵守事項に反し、法の不備を盾に議長職に居座り続けることは、法以前の人としての信義と礼節を欠く行為であり、議会を愚弄しひいては市民を愚弄していることに他ならない。

市議会として現状を看過する事は、議会の誠意と自己統治能力を問われることであり、議長辞職を求める。

※二見議員の弁明はなし。

反対討論（2人）

地方自治法第103条第2項で議長の任期は、議員の任期に由来している。議会の申し合わせは、ある業界がやった談合と同じ。法を守らないルールはおかしい。

12月議会も議長の議事進行のもと、何の問題もなく事は運んだ。正しい対応で問題はなかった。

賛成討論（3人）

議長の最大の使命は、公正な議会運営である。信任を得ず議長職に居座り、市民の信頼を著しく損な

うことの責任を追求する。申し合わせの改正や条例などの制定をすべき。

議会で決定した申し合わせ事項が問題であるならば、議会改革特別委員会で最初に協議すべきだった。それもなく居座ることは説得力を欠く。

12月議会中も二見議員本人の口から、「申し合わせ・慣例に従って」の発言が何度かあった。自分だけ特別あつかい。議長を続行したいという強力なメッセージもない。

一般質問

安心・安全・防災



質 避難所運営マニュアルの基本データである避難者カードを整備するように内閣府が提示して3年経過した。当市の整備状況はどうか。

(内藤法子)

答 避難者台帳では、現在水防のものしか作成しておらず、今後内閣府の示す避難者カードを参考にし中身を検討する。

質 市内にある土砂災害特別警戒区域の状況と、崖地近接危険住宅移転事業で、危険地からの住宅移転進捗状況は。

(内藤法子)

答 土砂災害特別警戒区域は65カ所。現在47軒の住宅がレッドゾーンにあることを確認している。今後も継続的に移転の周知を図る。



地域防災計画（防災訓練）

質 地域防災計画を確実に実施するための検証項目を計画に入れるべきでは。(杉山茂規)

答 計画に盛り込んでいくように検討していく。

質 国の防災基本計画では、地方公共団体は学校教育で体系的な防災教育を行うべきとされている。教育委員会主導で防災教育を学校教育で行うべきでは。(杉山茂規)

答 教育委員会としても学校教育と地域防災との関連の中で、何ができるかを検討していく。

質 市地震対策アクションプログラムは3年ごとの見直しをするとされているが実施されていない。検証のためのPDCAサイクルを回していく必要があると考えるが。(杉山茂規)

答 今までは実施していなかったが、具体的な事業との整合性などから、検証は必要と考え、これからは順次実施していく。

質 空き家実態調査の結果、適切に管理されていない空き家が数多くある事が分かった。

個別パトロールの結果は。(二ノ宮善明)

答 個別パトロールは、昨年度末に「屋根、壁が崩れて酷い状態である。」と回答のあった15軒の調査をし、本年度に残りの40軒を実施した。結果、特に老朽化が著しく、周辺に影響を及ぼすと判断した空き家は東地区に1軒、深良地区に1軒ある。

質 空き家特措法に基づき、自治体は計画作成などの協議会を組織できるが、設置の考えは。(二ノ宮善明)

答 空き家の対策方針を定め、計画を策定する中で、平成30年度に設置する予定。

子育て



質 母子・父子世帯の保育料減免につながる、所得控除のみなし寡婦制度の適用で婚姻の有無による不公平の是正を。(内藤法子)

答 みなし寡婦制度導入には、事務量が増えるなどの課題がある。今後、保育料見直しの際に適用も含め検討していく。

質 平成26年4月に設置された子ども・子育て会議。効果的、効率的に運営するためのポイントとして、会議録も含め情報を積極的に公開、発信する必要性が書かれている。市もしっかりした情報発信を望む。(岩井良枝)

答 情報発信していきたいと考えている。

質 子ども・子育て会議でこども園化の要望がある須山幼稚園、富岡第二幼稚園の検討がされている。進まなかった原因は。(岩井良枝)

答 施設の整備と保育士の確保が必要となる。保育士の配置が可能となった時点でこども園化の対象施設、内容などを検討していく。



御宿台保育園

一般質問

質 平成 28 年 3 月議会で御宿台保育園、北児童館の指定管理者制度導入が突然公言され、保護者説明会の開催は 9 月。市幼児施設基本構想の留意事項である「園の関係者、保護者、地域住民などから意見を聴取し検討を行う」を全く考慮していない。無謀だったのでは。(岩井良枝)

答 そうは思っていない。

質 御宿台保育園と北児童館に、3年間の指定管理者制度導入の後、民間委託する事を大きな目的としている。行政財産を民間に売り渡すこと。これは子どものことより行政都合によるコスト論でしかないのではないか。(岡本和枝)

答 決してそのような事はない。その都度議会の議決を頂きながら進めていく。また臨時職員の比率についての指摘があったが、現状を改善するためには民営化が最善の方法である。

質 市民の声が全く無視されたまま進められている指定管理者の公募と選定は一旦ストップすべき状況にある。(岡本和枝)

答 期間は短いようには感じるが、議会で議決もされている事業であり、各段階で報告している。選定委員会で相応しい事業者が選定されると考える。

まちづくり



質 来年3月裾野駅にエレベーターが完成する。地元負担金 30 億円の裾野駅東西自由通路・橋上駅舎整備の必要性は無いのでは。(岡本和枝)

答 財政状況から現時点での事業実施は難しいと考えている。

質 市が考えている公園施策の優先順位は。(廣瀬主博)



答 それぞれの施策の体系が違う中で序列を決める事は困難。しかし、市民意識調査の結果から要望は強く、重要な課題と認識している。関係各課と協議の上、今後市内の公園緑地などの整備や有効活用および PR などの費用の検討をしていく。

質 公園管理の窓口が3課に分かれているが、今後一元化をどう考えるか。(廣瀬主博)

答 都市公園の管理所管が違うという問題に対しては、一元化できるようにしていきたい。地域、地区の緑地広場は考えていない。

質 市内公園の安全に対する責任をどう考えているか。(廣瀬主博)

答 都市公園、児童公園など市が管理する公園は市が責任を持つ。区が管理している公園は、区で安全管理をお願いしている。区の公園の課題も検討していかなければいけないと認識。



質 総務省が平成 21 年度から始めた地域おこし協力隊は、大都市圏から地方に生活拠点を移して地域おこし活動をしながら、定住を促す取り組みである。協力隊員を募集する考えは。

(二ノ宮善明)

答 市外の若者の視点は大切と考える。活用できる施策などがあれば検討していく。

財政



質 実質単年度収支は県内最下位。改善には約 7 億円の歳出抑制が必要。徹底した歳出削減に対する行政経営監の考えは。(井出悟)

答 従来慣例でやってきた事業も、市民サービスには極力影響させない事を念頭に、ゼロベースで一つ一つ見直していきたい。

一般質問

質 行政経営監は市長直轄だが、2年間の取り組みは民間のスピード感と全くかけ離れている。乾いた雑巾を絞るところか、雫の滴り落ちる雑巾を握る事さえままならない。これほどまで進捗しない理由は。(井出悟)

答 行政経営監は職員の意識改革に全力で取り組んでおり、職員の気持ちに変化が出ている。間もなく大きな成果として目に見えるものが出てくる事を期待している。市長自らも先頭に立ち意識改革へ取り組む。

質 年度途中の待機児童の発生を棚上げし、受益者負担を原則としながら、収入の多い世帯でも第3子以降も無料で保育園を利用できる制度に市税を投じるのは的外れである。財政が厳しい市として早急に見直すべきでは。(中村純也)

答 事業見直しはどの事業でも必要なこと。この事業も実施後3年で見直し検証する。



市民文化センター

質 大規模修繕を行いつつ60年程度維持できる公共施設が、借地に立地している状態はリスクを伴っている。厳しい財政状況の中、1億7,000万円も支払う借地料を方針や目標を立て減らすべきではないか。(中村純也)

答 契約に基づく内容で見直しには期間を要するが、公共施設等総合管理計画や財政状況を加味しつつ市議会ならびに市民の皆様のご理解ご協力を得て取り組む。

組織・体制



質 産業誘致や移住定住の促進も含めたシティプロモーション機能強化は。(井出悟)

答 市民・民間企業者の協力を得た推進体制づくりや、横串を通した行政の取り組みとして全庁を挙げて推進体制の強化を検討する。



質 検証中の時差出勤の結果を受けて、今後はどうにするか。(村田悠)

答 平成29年1月から全職場に拡大し試行する。勤務時間は通常勤務のほか、午前7時30分から午後4時15分、午前9時30分から午後6時15分、午前10時30分から午後7時15分、午前11時30分から午後8時15分、午後1時から午後9時45分の5パターンを実施する。

質 県内他市町に時差出勤の事例がないが、先駆け導入する理由は。(村田悠)

答 ワークライフバランスの実現、長時間勤務の是正、時間外勤務の縮減、職員の健康管理をしていくために導入する。

産業



質 市内でがんばる企業を市民全体で応援する(仮称)地域産業活性化条例を制定し市の活性化に拍車をかけないか。(中村純也)

答 現在策定中の産業基本計画の中で協議し、盛り込んでいく方向で検討する。

くらし



質 利用者が不便を感じている、文化センター大ホールのトイレ洋式化は。(村田悠)

答 防衛の補助金を基金として積み立てており、平成30年度に実施設計、平成31年度に改修工事を計画している。

行政視察受け入れ状況

市議会では、全国各地で行われている優れた施策や特徴ある施策を当市へ取り入れるために、先進地へと視察に行っています。同様に、全国各地から、裾野市の先進的な取組みを視察するために訪れている方々があります。

ここでは他の市町村が視察の目的とした取組みや、受け入れ状況を紹介します。

・子育て支援パートナー養成講座

(平成 28 年 11 月 18 日 群馬県館林市議会)

子育て中の方が身近で気軽に相談できる方や話し相手となる方を子育て支援パートナーとして養成する取組みです。

子育てしやすい環境づくりが進み、地域の中で支援パートナーに見守ってもらう事で、子育て中の方の孤立化を防ぎます。また、虐待などの未然防止にもつながり、きめの細やかな相談業務が行えます。子どもの成長と子育てを地域全体で支援していこうという気風を醸成しています。

・オープンデータの活用と効果

(平成 28 年 11 月 10 日 京都府舞鶴市議会)

市が保有する膨大な公共データを、コンピュータに適したデータ形式で公開し、営利目的も含めた二次的な利用を促す取組みです。県に同調して開始しました。これまでに、AED マップ、消火栓防火水槽マップ、避難所までの案内サービス、地元情報発信アプリなどのサービスを提供しています。

・ファシリティマネジメント・業務改善

(平成 28 年 10 月 20 日 福岡県京都郡苅田町議会)

今後の公共施設大規模改修や、建替え時期が集中することによって同時期に多額の費用が掛かります。



そのため、公共施設などの全体像を把握し長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な管理を行うために、公共施設等総合管理計画を策定し解決する取組みです。

行財政改革の取組みとして民間出身の人材を市長直轄の行政経営監として登用し、行政運営や民間企業の考え方や手法を取り入れられるように行政改革を行っています。職員事務改善等提案制度や改善勉強会などに取り組んでいます。

・耕作放棄地の活用・6次産業化施策

(平成 28 年 8 月 4 日 岐阜県恵那市議会)

・企業と連動した災害時の体制整備について、演習場対策

(平成 28 年 7 月 7 日 宮城県大衡村議会)

・裾野市本庁舎耐震補強工事

(平成 28 年 1 月 26 日 北海道富良野市議会)

・子育て支援事業

(平成 27 年 11 月 12 日 京都府向日市議会)



・少子化対策事業

(平成 27 年 10 月 7 日 埼玉県深谷市議会)

・特産物(そば)を利用した農業振興

(平成 27 年 8 月 10 日 福島県相馬市議会)

・薬草の特産化

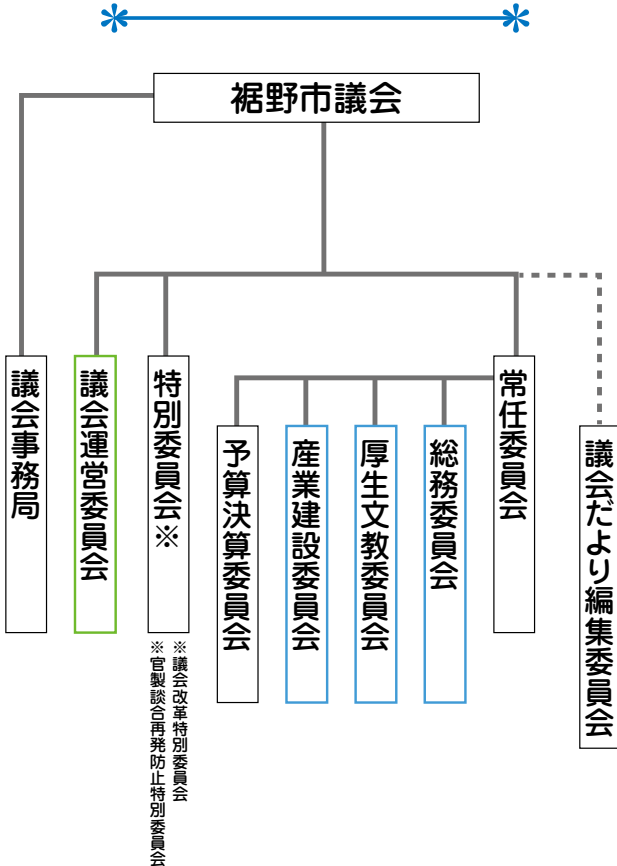
(平成 27 年 5 月 18 日 鹿児島県南さつま市議会)

日本全国から多くの市町村が
先進的な事例を視察するために
裾野市へと来訪しています!

委員会メンバーが 代わりました

○委員長 ○副委員長

裾野市議会の組織



総務委員会



芹澤邦敏、杉本平治、廣瀬 主博、土屋秀明
岡本和枝、◎賀茂博美、○中村 純也

企画部・総務部・環境市民部などの所管に関する事項について協議、審査を行います。

厚生文教委員会



内藤 法子、岩井 良枝、二ノ宮善明
二見榮一、◎小田圭介、○杉山茂規、三富美代子

健康福祉部・教育部の所管に関する事項について協議、審査を行います。

議会運営委員会



二ノ宮善明、賀茂博美、小田圭介、村田悠
勝又明、◎芹澤邦敏、岡本和枝、○三富美代子

議会を円滑に効率的に運営するための協議を行います。

産業建設委員会



佐野利安、増田喜代子、小林俊、村田悠
杉本和男、◎勝又明、○井出 悟

産業部・建設部・環境市民部（上下水道課）の所管に関する事項について協議、審査を行います。



裾野市議会の政務活動費

1. 政務活動費とは？

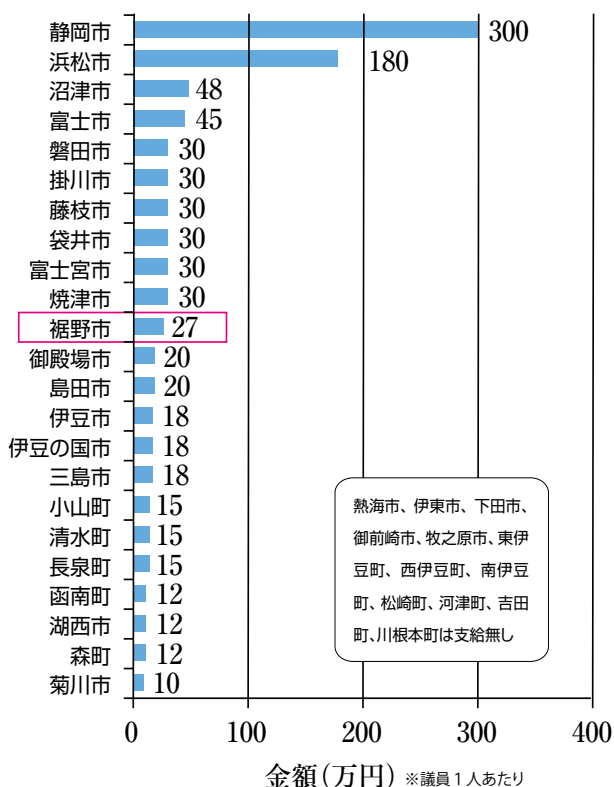
議員が市政に関する調査・研究活動（＝政務活動）に必要な経費の一部として会派または会派に属さない議員に市長から交付されます。市政に関する調査は多岐に渡るため、条例で用途を定め、さらに平成 25 年 4 月に政務活動費用途基準の運用方針を作成し、過去の判例なども十分に活かし、細分化された用途の項目を規定しています。

運用方針に記載がない支出は、議会事務局と協議し適切な支出となるよう努めています。

2. 交付額は？

半期ごと（5月、11月）まとめて交付（前払い）されます。金額は議員一人当たり年額 27 万円（月額 22,500 円）です。

県内市町の政務活動費交付年額(平成27年度)



3. 政務活動と用途は？

政務活動とは、議員としての役割を果たす為に、取り組む以下の諸活動です。用途は条例で以下の費目に規定されています。

- ①調査研究費：市政課題、政策立案などに必要な調査研究、情報収集などの活動経費
- ②研修費：研修会を開催・受講する経費
- ③広報費：住民への市政広報の活動経費
- ④広聴費：住民からの意見・要望聴取、意見交換などの活動経費
- ⑤要請・陳情活動費：要請・陳情の活動経費
- ⑥会議費：国・県・市職員などの行政関係者、各種団体との会議、意見交換などの活動経費
- ⑦資料作成費：活動に必要な資料作成の経費
- ⑧資料購入費：活動に必要な図書、資料などの購入経費
- ⑨人件費：活動を補助する職員の雇用経費
- ⑩事務所費：活動に必要な事務所の設置・管理に必要な経費

4. 政務活動費の充当が不適切な経費

政務活動に必要な経費に対し交付される事から、以下の経費には充当できません。

- ①公費の対象となる本会議・委員会の出席、委員会視察、市などの主催行事・説明会・懇親会などへの出席に要する経費
- ②政党活動に関する経費
- ③選挙運動・活動に関する経費
- ④後援会活動に関する経費
- ⑤議員個人の資産形成につながる経費
- ⑥慶弔、宗教、私的に参加する団体の会費、個人の資質向上など私的な活動に関する経費
- ⑦その他政務活動の経費として、支出が不適切な経費

5. 使途の説明責任

政務活動費は、条例に基づき会派の代表者または会派に属さない議員から、議長に収支報告書の提出が義務付けられています。

よって会派または会派に属さない議員は、政務活動費の使途に関する説明責任があります。

6. 証拠書類・会計帳簿などの保管

会派または会派に属さない議員に、使途を証明する証拠書類（領収書、受領書など）は原本の提出を義務付けています。また会計帳簿、契約書、研修や視察に関する資料などと共に5年間の保管義務があります。

7. 証拠書類などの審査の実施

中間と期末の2回、証拠書類（会計帳簿、領収書など）と充当内容を報告し、議会事務局の審査を受けています。

また、結果を議長に報告しています。



▲政務活動費収支報告書

8. 情報公開

会派別の執行実績を市公式ウェブサイト内の市議会ページで公開しています。また支出を証明する書類は議会事務局でも保管していますので閲覧が可能です。なお市外在住者（法人含む）は開示請求が必要です。

会派別の執行実績（平成27年度）

会派名	人数	交付額（円）	支出額（円）
はやぶさ	6	1,620,000	1,065,411
未来すその	5	1,350,000	1,343,523
市民クラブ	4	1,080,000	1,036,710
日本共産党	2	540,000	523,682
公明党	2	540,000	433,287
歩志の会	2	540,000	536,329
合計	21	5,670,000	4,938,942

よくある問い合わせ

Q: 証拠書類・会計帳簿などの公開範囲は？

A: 個人情報保護や偽造防止の観点から、個人名や印影などに配慮した上で、基本的には全面公開しています。

Q: 政務活動費の未使用分は？

A: 年度末に精算し市長に返還しています。

政務活動費の適切な執行、透明性の更なる確保に向け、
情報公開方法の検討・見直しを開始しました。
今後、議論の結果も公表していきます。

新副議長が就任しました

この度、市議会 12 月定例会におきまして、選出いただき就任いたしました。

本格的な人口減少・少子高齢化の進展、住民ニーズの多様化、厳しい財政状況など、当市を取巻く社会環境は大きく変化しています。

これらの変化に対応し、市民が暮らしに満足できる裾野市の実現が求

められております。このような中で議会の役割は、更に大きくなってきております。

そこで、市民の議会に対する関心と信頼を高めるため、開かれた議会活動や議会活性化に向けた取り組みなどを行い、皆様の負託に応えてまいります。

副議長 土屋 秀明



………議会を傍聴してみても………

議員のいつまでに行うかとの質問に対し、市は検討するとの答弁ばかりで、いつまでなのかわからない。 60代・男性

初めて傍聴しました。書面では読み流してしまう事も傍聴するとしっかりと内容を理解できるので、今後も自分と身近な問題や内容の時は傍聴したいです。 50代・女性

議員が質問のために用意した資料がないと、せっかく傍聴に来てもやりとりの真意が不明で傍聴の意味が無くなってしまいます。色々難しい点はあると思うが、ぜひ改善を考慮してほしい。 60代・男性

答弁の音が聞きづらい。音量の調整をしてほしい。 70代・男性

ご意見・ご感想ありがとうございました。

議会傍聴にお越しく下さい

平成29年3月定例会(内々定) ※予定は変更する可能性があります。

2月15日	水	本会議	10:00～	3月1日	水	本会議	10:00～
2月17日	金	予算決算委員会	本会議終了後	3月2日	木	予算決算委員会 総務分科会	9:00～
2月20日	月	予算決算委員会 総務分科会	9:00～	3月6日	月	予算決算委員会 厚生文教分科会	9:00～
		総務委員会	分科会終了後	3月7日	火		
2月21日	火	予算決算委員会 厚生文教分科会	9:00～	3月8日	水	予算決算委員会 産業建設分科会	9:00～
		厚生文教委員会	分科会終了後	3月9日	木		
2月22日	水	予算決算委員会 産業建設分科会	9:00～	3月10日	金	本会議 (一般質問)	10:00～
		産業建設委員会	分科会終了後	3月13日	月		
2月24日	金	予算決算委員会 現地視察	13:30～	3月14日	火	予算決算委員会	本会議終了後
2月27日	月	予算決算委員会	13:30～	3月15日	水		
2月28日	火	予算決算委員会 総務分科会	9:00～	3月16日	木	本会議	10:00～

市役所 5 階の議会事務局で簡単な手続き（名前と住所の記入）を行えば、議会傍聴することが出来ます。12 月定例会の傍聴者は **96 人** でした。

編集委員

- 委員長…………… 杉山 茂規
- 副委員長…………… 岩井 良枝
- 委員…………… 廣瀬 主博
村田 悠
井出 悟
中村 純也
岡本 和枝

議会をチェック!!

裾野市議会 検索

